



原っ子つうしん

目には見えないけれど大切なもの「命」「思いやり」「一生懸命」

令和6年

10月2日(水)

印西市立原小学校

校長室便り

〈第6号〉

＜学校教育目標＞

人間性豊かな、考え行動できる心身ともにたくましい子どもの育成

～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

猛暑も終わり、ようやく秋を感じられるようになりました。10月は行事もたくさんあり、勉強や運動にも最適な季節だと思います。子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、職員一同全力を尽くして参ります。

＜受け継がれ、受け継いでいく「命」「思いやり」「一生懸命」＞

昨日の全校集会で、私は以下のように児童に話をしました。

皆さん、目には見えないけれど大切な3つのものは、覚えていますか？そうです。それは、「命」「思いやり」「一生懸命」でしたね。

今日は、なぜ、それが大切なのか、話をします。

まず、「命」です。皆さんも知っているとおり、命には限りがあり、自分の命はたった一つしかありません。そして、それは、自分だけのものではありません。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、先祖代々から、皆さんの命は受け継がれてきました。そして、これからも未来に向かって、あなた自身の命は受け継がれていきます。

次に、「思いやり」です。先程話した「命」は、残念ながら永遠に続くものではありません。しかし、亡くなってしまったその人と共に過ごした「思い出」、その人からもらった「優しさ」や「思いやり」は、私たちの心の中でずっと生き続けると思います。そして、その人とあなた自身の「思いやり」も、次の人に受け継がれていきます。

最後に、「一生懸命」です。私たちは、何人、何十人、何百人、何千人、もっともっと多くの命を受け継いでいます。だから、その人の分まで一所懸命生きていかねばなりません。勉強に運動に、そして自分や人のために一生懸命になり、命を輝かせなければなりません。そのあなた自身の「一生懸命は、「生きる力」となり、その姿は、誰かの心を震わせ、「勇気」や「希望」を与えます。つまり、人に「生きていく力」をあげることができます。

皆さんが持っている、目には見えない「命」「思いやり」「一生懸命」は、遙か昔から受け継がれ、これからも誰かに受け継いでいかねばならないものです。だから、大切なのです。

原小学校の皆さん、今まで私が話してきたことが全てでもなく、正解でもありません。様々な考え方があります。ですから、皆さんがこれから人生を歩んで行く中で、考えてください。今でなくてもよいです。「命」「思いやり」「一生懸命」を真剣に考える時が、きっとあると思います。この3つを考えることは、その人自身を成長させ、誰かのためにもなると、私は思っています。

＜お願い＞ 本校教職員の勤務時間は、8時00分から16時30分となっております。大変恐縮ですが、働き方改革の観点から、今後緊急な場合を除き、勤務時間以降の電話連絡や来校等は、できるだけ控えていただきますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。